

あじさい Vol. 9

〒650-0013 神戸市中央区花隈町33番19号 Tel.(078)351-0657(代表) <http://www.kobe-kango.ac.jp/>



設置主体変更にあたり

公益社団法人 神戸市民間病院協会

会長 松田 彬 功

この度、平成25年4月1日より神戸看護専門学校は公益社団法人神戸市民間病院協会の基に運営をすることになりました。これまで

は社団法人兵庫県民間病院協会神戸看護専門学校でしたが神戸市民間病院協会が名実ともに設置者として運営することになりました。

これに至る経緯は、昭和35年に神戸市の民間病院の院長会でこれからの病院が地域に密着した医療をしていくうえで看護師養成が必要であると考へ神戸私立病院長会を設立したのがはじまりです。その後准看護師、看護師の養成のために昭和52年に看護師教育の養成校としての認可を取得するために社団法人兵庫

県私立病院協会が設立され神戸看護専門学校として国からの養成校の認可をうけ一部補助金を受けて兵庫県私立病院協会が運営することになりました。その後今日まで神戸市の私立病院協会加盟病院が大変協力し合い資金面、

教育面、学校建屋の管理など大変尽力していただきました。長い歴史を経ての諸先輩が目標としてきました公益法人のもとでの神戸看護学校は、非営利法人として民間に広く地域

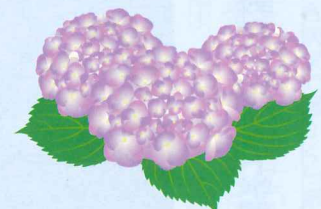
に密着した看護理念を持って歩んでいきたいと思えます。

今日の社会は大きく変化しています。特に、日本の人口変動では少子社会と人口減少そして高齢者の増加が2025年には75歳の超高齢者が800万人増加し、一方65歳以下の人が300万人減少するということが日本の人口統計から言われています。国は超高齢者の増加に対応するために地域包括ケアシステムでお年寄りが地域でこれまでと同じように安心して暮らせる地域社会を目指した高齢者ケア構想を立ち上げ今年度より実施に移すことになりました。その施策内容の基本は在宅医療の推進で医師、看護師を中心に多職種が連携してこれにあたるということです。今後はますます医療・看護と介護が重要になります。

現在当看護学校で教育を受けておられる皆さんはこの時代の変化をよく理解し地域社会に役立ち貢献できるように、本校の教育理念と目標に沿って日々勉強し心を広く持つて地域に密着した優しい看護師をめざしてください。

平成25年度 入学式

平成25年4月5日 本校講堂にて入学式が執り行われ11期生64名の新入生を迎えました。





1年1組
上原 絵里子

本校に入学し、3か月が経ちました。社会人経験後の入学のため、最初は不安でいっぱいでしたが、学校生活にも慣れ、毎日楽しく過ごしています。遠回りではありませんでしたが、今こうして看護師になるための第一歩を踏み出し、優しい先生や大切な仲間に出会えて、神戸看護専門学校に入学出来た事を本当に嬉しく思います。10代の現役生から20〜40代の社会人まで、年齢やこれまでの経験は様々ですが、同じ夢を持つ仲間として、共に学び、共に支え助け合い、3年間頑張りたいと思います。



1年1組
竹内 奈津希

私は社会人経験を経て入学し、小さな子どもの母親でもあるので、勉強についていけるか、同級生に馴染めるか入学前は不安でした。しかし、同級生にはお子様がいらつしやる方も沢山おり、年齢も幅広く驚きました。今では勉強のことや悩みを相談できる友人もでき、入学前には想像できないほど充実した毎日を送っています。

これから困難なことも含めて学生生活を楽しくめるように、そして看護師になりたいこの思いを常に胸に抱いて日々を過ごしていきたいと思っています。



1年2組
西澤 美和

入学して3ヶ月経って想像していた通り課題、テスト、実習等でまだまだ高校時代のゆとりしているのがなかなか抜けられない私にとっては毎日一杯大変です。学生皆が看護師になりたいという一つの夢に向かってるので毎日慣れない環境でも



1年2組
南 里佳

入学してから本当に楽しい毎日を送っています。

私は徳島県の出身で、同じ高校を卒業した友人がいないため入学する前からドキドキしていました。

11期生のクラスメイトはすぐく仲良しくしてくれるので、笑いが絶えることはありません。

また、入学してすぐにあった野外活動と新入生歓迎会のふれあいがあることに楽しく、私のこれからの学校生活が楽しいものになることは間違いないと確信しました。

勉強とアルバイトを両立させながらクラスメイトや先生方と一緒に楽しく前向きな気持ちを持って実習や課題に取り組める学校生活にしたいです。

励ましあって頑張っています。またいろいろな年代の方がいるので勉強になることや刺激となることがたくさんあり、楽しいです。未来教育プロジェクトは思っていた以上に奥が深いので実習などを通してより学んでいきたいと思っています。

あじわい式(宣誓式)

領域別実習が開始される前の平成24年10月12日に行いました。一人ひとりが「自分がめざす看護師像」と願いをかなえるための戦略を9期生全員の前で宣誓しました。

宣誓式を行う事で、学生は入学のときに抱いていた看護師像をより具体的にイメージすることができたこと、また自分の気持ちの確認とともに達成できるように頑張ろうという気持ちにもなり、真剣に向き合うことができました。さらにクラス全員の前で宣誓することで学生が一人ひとりの願いを知る機会にもなりました。

学生は「自分がめざす看護師像」を明確にすることで初心に気付き、モチベーションを高めたうえで実習に臨むことができました。

専任教員 荻野 知江子



講師会議

平成25年5月23日本校7階セミナー室にて今年度の講師会議を行いました。

例年入学式当日、式の終了後に講師会を開催していましたが、今年度は新入生を迎え1ヶ月半経ったところで、入学後の1年生の状況も伝えながら教育課程についての説明を進めていきました。今回初めて講師会に出席された先生方もおられ、スライドを使って学校の取り組み等について説明を行うことで学校についての理解を深めてもらう機会となりました。

学生の現状や授業の工夫などについての意見交換も活発に行われ、会議を終えることができました。

教務主任 大西 安代



未来教育プロジェクト学習

平成25年4月9日に兵庫県中央労働センターに於いて、鈴木敏

基礎看護学実習を終えて



1年1組 市原 義成

私は三菱神戸病院の外科病棟で実習させていただきました。

外科病棟ということもあり、車いすや歩行器を使用されている方も多く、廊下の小さな段差にもわかりやすく注意喚起がしてあり、また病室内は車いすや歩行器でも移動しやすいように、十分に空間を確保するなど、患者様目線の工夫が多く見られました。私もこうした患者様の考え、ニーズに沿った看護が提供できるように、今後の実習や学習に取り組んでいきたいと強く感じました。



1年1組 重富 志緒里

入学してから初めての臨地実習となる、基礎看護学実習1ー1が5月8・9日の2日間ありました。この実習では、臨床の場を通して対象者を取り巻く環境や実際の看護活動を学んでいきます。そのなかで私は看護師の役割について考え、看護への関心を深めることができました。そして今回の実習を有意義なものにするために、目的を持つ

て情報を収集することができたと思います。今後も情報収集力や情報分析力を更に高めて、物事の本質を見極める力を身に付けていきたいです。



1年2組 森本 早紀

入学して約1か月後の5月8・9日の2日間、基礎看護学実習1ー1へ行きました。

行く前は不安でいっぱいでしたが、実際に患者様と接することでコミュニケーションの重要性を知りました。そして看護師の方が患者様と関わっている姿や、ケアを提供しているところを見学させていただいたことで看護師の役割について考えることができました。実習は二日間という短い期間でしたが、それだけでも学ぶことがたくさんありました。そして看護の現場を生で見ることで、より看護学生としての自覚が高まりました。

今後この気持ちを忘れることなく、様々なことを基礎からしっかりと学び、看護師という目標に向かって成長していけたらと思っています。



1年2組 ボルターノ 由香

二日間という実習を終えて、私の授業に対する考えが、大きく変わったと実感しています。実習では、すべての看護師の方が一人一人の患者様に合ったケアをされていて、看護の奥深さを知ることができました。同時に、もっと学びたいと感じました。

今、本格的な看護の授業に入り、課題にレポートに追われる日々が続いています。そんな時も、実習先で見た看護を提供できるように、これからの看護の授業を真剣に、また楽しんで学んでいきたいです。

新入生歓迎会

フレッシュな新入生を迎え、平成25年4月26日に新入生歓迎会を行いました。

各グループで2年生が主体となり、ビジョンを「学年の壁を越えて仲良くなり、新入生の不安を解消したい」と掲げ、「新生活に対する不安を解消することが出来る」というゴールを目指して戦略を立てました。ボーリングや王子動物園、神戸ワイナリー農業公園や大蔵海岸公園でのパーベキューなど、グループ毎で散策場所は違いましたが、学年間の楽しい交流が図れ、どのグループも学年を越えたよい関係作りができ、ゴールが達成できたようです。

2年生の実行委員の皆さん、企画から運営まで本当にお疲れ様でした。専任教員 三原 満代

恵先生を講師に迎え未来教育プロジェクト学習「プロジェクト学習&ポートフォリオで夢を叶えよう」を開催しました。今年は全校生、専任教員が参加し、プロジェクト学習、ポートフォリオの基本と手法、実際について講義をしていただき、パワフルな講義に多くの刺激を受け、多くの学びがありました。

「自己」目的・目標を見出し、情報を集め、課題解決策を考え実施し、「知の成果物」を作り出す、その中で論理的に分かりやすく表現できる能力を身につけることへの理解が深まったように思います。

専任教員 坂井 智子



8期生のカムバックデー

平成25年3月に卒業式を終え、4月より新人看護師として働いている36名の卒業生が母校に帰ってきました。

卒業以来、同期生での再会と歓談が2か月ぶりということもあり、喜び和気藹々と各ブースに分かれて話を弾ませていました。そして、

全員の前で、一人一人が近況報告を行い、仕事や勤務、先輩看護師のことなど、各病院で暖かくも厳しい指導のもと卒業生を育てていただいている様子がかがえました。話をする皆は、学生時代とは違い看護師の顔で頼もしく、反面、巣立つといった寂しさを持つ親の気持ちの両方の思いで聞いていました。

開催時間いっぱいまで歓談し、最後にみんなで記念撮影を行うなど、心温まる時間を過ごすことができましたように思います。

8期生だけのカムバックデーは卒業年の1回だけの開催ですが、対人職である看護師は、様々なストレスを抱えて仕事をします。卒業生が今後働くうえで、悩んだり辛いときに、母校が安らぎの場となり相談場所となるように、カムバックデー開催後も関わっていきたいと思います。

専任教員 中村 朋子



教育理念・教育目的・教育目標

教育理念

本校は兵庫県下の民間病院の医療を担う看護者の育成を目的とし、医療安全に対する意識を高く持ち、自ら感じ考え行動できる専門職業人の育成を目指す。

看護はあらゆる健康状態の人々を対象とし、生涯を通してその最期までその人らしい生活を送れるように支援することである。

また、学生一人ひとりかけがいのない存在としてとらえ、可能性を引き出し、その能力を最大限に発揮できるように支援する。

教育目的

本校は看護師に必要な基礎的知識・技術・態度を修得し、豊かな人間性を育み、倫理的価値観を形成し、兵庫県下の民間医療に貢献できる看護の実践者を育成することを目的とする。

教育目標

1. 生命の尊重と人間愛を基礎とし、相手を思いやる豊かな人間性を養う。
2. 人間を統合的に理解し、看護を必要とする対象に対して、根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
3. 看護職としての役割と責任を認識し、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる基礎的能力を養う。
4. 自らの意志で学び、よりよい看護を探究する基礎的能力を養う。



平成25年度 年間予定表

| 行事 | | 行事 | |
|----|--|-----|----------------------------------|
| 4月 | 入学式 特別講演 健康診断 新入生歓迎会 学外研修(全学年) | 10月 | 奨学金病院説明会 |
| | 5月 | 11月 | 推薦・社会人入学試験 |
| | | | 解剖見学 芸術鑑賞(全学年) 学生間交流会(全学年) |
| 6月 | 歌舞伎鑑賞(1年生) | 12月 | 一般入学試験(一次) 全卒業生カムバックディ |
| 8月 | 実習指導者研修会 オープンキャンパス | | |
| | | 9月 | 実習指導者研修会 あじさい式(宣誓式) 防災訓練 |

平成25年度 看護師国家試験合格率

| 課程 | 国家試験合格率 | |
|------|---------|-------|
| | 本校 | 全国平均 |
| 3年課程 | 97.5% | 88.8% |



(校舎)

同窓会だより

平成25年5月27日(月)、神戸看護専門学校の講堂にて参加者43名のもと同窓会総会が開催されました。平成23・24年度会長の島岡正晴氏より、平成24年度の活動報告を行い、その後に平成25年度の役員選出および承認を行いました。

平成25年度会長として私、土肥陽子が1年間会長を務めさせていただきます。平成25年度より、役員任期を2年より1年に変更し、総会にて承認を得ることが出来ました。1年間3年課程の1期生のメンバーにより卒業生の親睦に努めていきたいと考えておりますので、卒業生の皆さん、同窓会にて行いたいことがあれば副学校長まで申し出てくださいれば幸いです。

役員全て新規メンバーとなり、不慣れな点もあると思いますが、前年度役員の方々の協力を得て努めていきたい所存ですので、よろしくお祈りいたします。

なお、平成26年度役員は3年課程卒業の3期生の皆さんとなります。

編集後記

この春より学校名が変わり、新しい学校としてスタートしました。それに伴い様々なものが一新され、私たちも気持ちを新たに日々の業務と向き合っています。

また、今年度より3学年がようやく60名の定員に揃い、各学年が2クラスとなつて学校の中も賑やかになりました。看護師という目標がひとつだけに、どの学年も年齢差を感じさせない仲の良さです。そんな学生達がここで学んで良かったと思えるような学校であり続けるために、「あじさい」の心を大切に支援し続けたいと思っております。

広報委員 事務部 一ノ瀬加代子

あじさい 第9号

発行日 平成25年7月30日

発行所 公益社団法人神戸市民間病院協会

神戸看護専門学校

発行責任者 林 美栄子

印刷所 有限会社 河里盛広館